

アレルギー対応マニュアル

主に食品アレルギー

《 想定される事故 》

- ・給食やおやつでアレルゲン含む食品を食べてしまった。
- ・同じく肌に触れた。(園庭でよもぎなど、隣の席の友達の牛乳が飛んできたなど)
- ・アレルゲンのついた雑巾を使った。(牛乳を拭いた雑巾は洗っても残る)
- ・保育者のエプロンやタオルに触れた。(アレルゲンが附着している可能性がある)
- ・製作で牛乳パックを使った。(水洗いでもダメ)
- ・部屋の掃除が不十分。(ハウスダスト)
- ・午睡用の布団に他の子の食べこぼしなどが付いていた。



《 対応マニュアル 》

吐き出させて
うがい。

微量でも飲み込んだら薬を飲ませ、
保護者に連絡する。

動かさず寝かせて
足を高くする。(泣いても抱っこしない)

症状の写真
を撮る。

《 対応策 》

- ◎ 緊急時連絡表に記入してもらう。
- ◎ 緊急時経過記録表を用意する。
(教室と職員室)
- ◎ 園児への対応マニュアル用紙に記入する。

アレルギー検査表
健康保険証
かかりつけ医の診察券
のコピーを添付する。

《 予防策 》

- ◎ 給食メニューのチェック → 保護者・担任・給食室(毎朝・配膳時・食べる前)
- ◎ 机を離して、必ず担任と一緒に食べる。
- ◎ クラス又は学年全員にアレルギーについて知らせておく。

(〇〇ちゃんは□□が食べられないよ)